

江戸川大学大震災時行動マニュアル (学生用)

平成 23 年 5 月 11 日

江戸川大学災害対策基本方針

- 1．防災に関する事前対策を講じる。
- 2．人命の保護を最優先する。
- 3．学業の速やかな再開を図る。
- 4．近隣住民などへの協力を惜しまない。
- 5．危機管理体制を定期的に見直し、継続的に改善する。

はじめに

このマニュアルは、江戸川大学（千葉県流山市）で震度6弱以上の地震が発生した際の基本的な行動基準を示すもので、対応方法について解説したものです。

地震発生時に自分自身で身を守り、発生後数時間の混乱を乗り越えられるよう、しっかりと対応していただきたいと思います。日頃からの心がけをよろしくお願いします。

<参考>

震度階級	人間	屋内の状況	屋外の状況
5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。
5強	大半の人が、物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが多くなる。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。

気象庁震度階級関連解説表

気象庁の発表(2011.3.30)によると、東北地方太平洋沖地震により流山市で観測された震度は5弱。本学でも、固定していない書架等の転倒、窓ガラスや壁等にヒビが見られましたが、建物に重大な損傷はありませんでした。

流山市地域防災計画震災編によると、「首都直下型地震対策専門調査会」で検討されている首都直下で発生するM7クラスの地震のうち、流山市に最も被害をもたらすことが予想されるのは東京湾北部地震及び茨城県南部地震であり、震度の予測は東京湾北部地震では震度6弱、茨城県南部地震では震度5強となっています。

2. 地震発生時の対応「授業中等に地震が起きたとき」

地震直前

0 緊急地震速報が発表された場合

すぐに窓や倒れやすいものから離れる。
頭部を保護する体勢をとる。
エレベーターに乗っている場合は最寄り階で降りる。

地震発生

1 揺れがやってきたら、身体の安全が第一！

大きな揺れには、机などの下に身をかくし
頭を保護すること。

2 慌てて外にとび出さないこと

むやみに屋外に飛び出すのは危険。
状況をよく確かめて、落ち着いて行動しよう。

3 戸を開けて、出口を確保！

地震でドアがゆがみ部屋に閉じこめられないよう
戸を開けて出口を確保すること。

体育館にいる場合は、窓から離れ、中央に
集まります。
広場やグラウンドにいる場合は、その場で
座り込み揺れがおさまるのを待ちます。

地震発生後 1 ~ 2 分

4 火元を確認！

火が出たら、落ち着いて消火します。

5 作動中の実験装置等の停止！

まだ作動中のものがあれば、即停止しよう。

3月11日の地震では、多くの方が1回目の
揺れで屋外に避難しましたが、震度6弱以
上の揺れの場合、大変危険です。
窓ガラスやタイルが割れ、落ちてくる可
能性が高まるからです。
慌てて屋外に飛び出さず、その場で余震が
おさまるのを待ちましょう。

地震発生後 3 分

6 本震の直後に 大きな余震がある場合もあり ます！その場を動かないこと！

大きな揺れが続いてくることもあります。
慌てて教室や建物から飛び出さないように。

7 室内の安全確認

倒れた書庫等の下敷きになっている人がいないかを
確認。けが人の確認

判断するときのポイント

- ・室内の状況
 - ・他の教室の状況
 - ・建物の状況
 - ・火災の状況
- 安全と確認できた場合は、指示があるま
でその場で待機。

行動に移すときのポイント

- ・火災が起きている場合は、避難する前に
タオルやハンカチで口を覆う。
- ・どのルートで避難すれば安全か確認。
- ・エレベーターは使わない。
- ・押し合わないよう注意する。
- ・パニックになった学生を落ち着かせる。
- ・屋外に出たら、建物等から離れて行動。

揺れがおさまったら

8 隣接する部屋で助け合う！

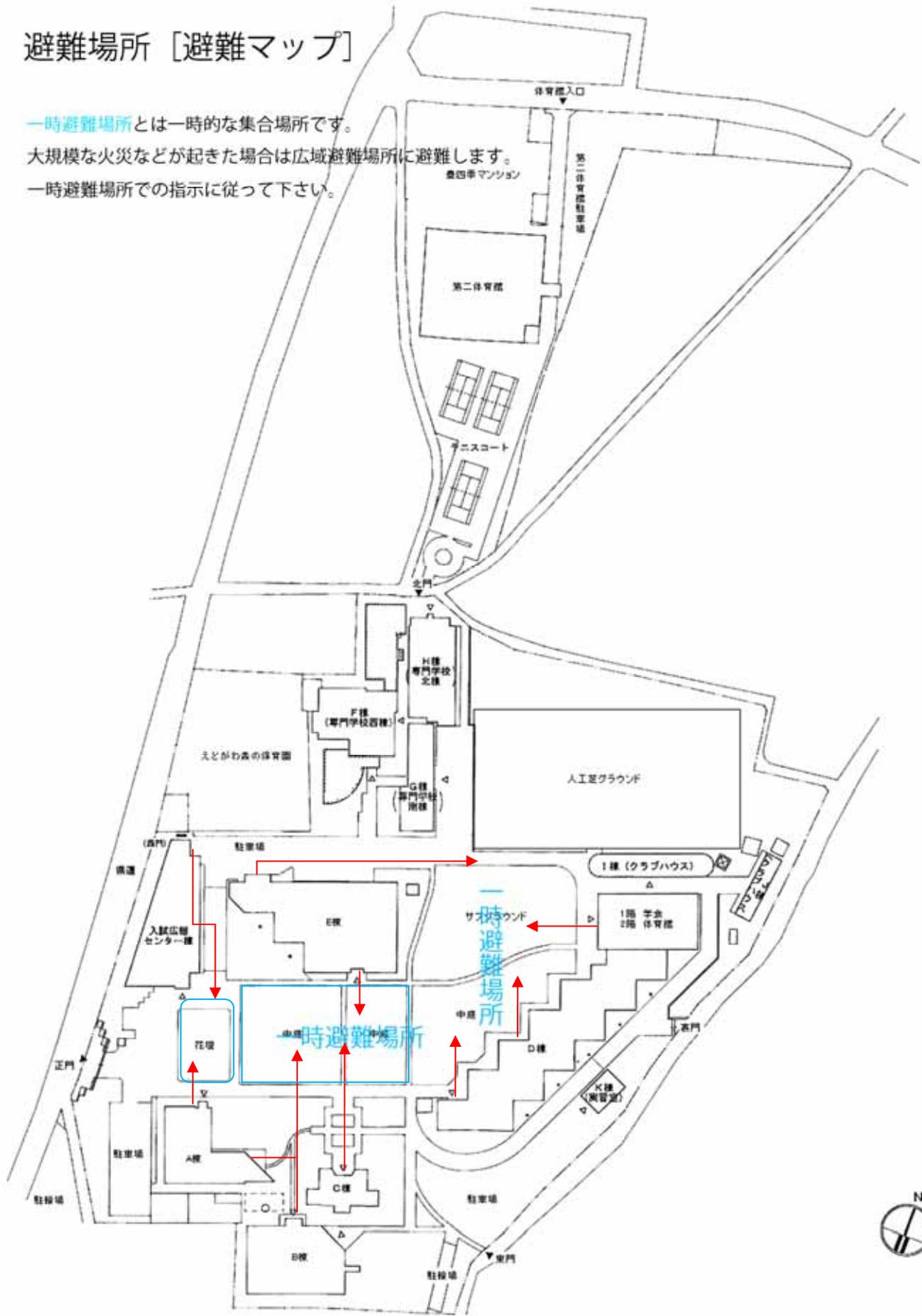
他の部屋や教室で下敷きになっている人がいれば助
け合う。

9 避難するかどうかの判断と行動

自分のいる場所が安全かどうかで避難を判断しま
す。避難場所は「中庭・サブグラウンド」です。

避難場所 [避難マップ]

一時避難場所とは一時的な集合場所です。
大規模な火災などが起きた場合は広域避難場所に避難します。
一時避難場所での指示に従って下さい。



3 . 地震発生後の対応

(1) 一時避難

一時避難場所にいったん集合した後、状況により、体育館や広域避難場所などに移動することもあります。建物の安全性が確認されれば元の教室へ戻ることもありますので、一時避難場所に指示があるまで待機します。

(2) 帰宅の判断

地震の規模、発生時間、交通機関の状況により、地震発生後数時間おいてから帰宅を開始します。帰宅する目安は、自宅がキャンパスから15km以内であるかどうかですが、体調や体力に不安のある者は避難所に待機します。

(帰宅時の注意)

- ・原則として徒歩で帰宅する。
- ・ターミナル駅、繁華街など人が集中する場所を通らない。
- ・幹線道路を通る。
- ・帰宅経路を複数想定しておく。

キャンパスから15km以内のエリア



(3) 避難所

避難所は体育館を想定していますが、安全と確認された建物に設定します。
自宅がキャンパスから 15 km よりも遠い人は帰宅せずに避難所を利用します。

(4) 地震発生時に大学にいない場合

在宅の場合

在宅中に大学（千葉県流山市）で大地震が発生した場合は各自自宅で待機します。
携帯メールネットワーク・大学ホームページで、学校の対処を連絡します。

登下校時の場合

通学途中に大学（千葉県流山市）で大地震が発生した場合、各自の判断で自宅に引き返します。
大学の近くまで来ていて、自宅に引き返すより学校へ向かう方が安全と判断した場合は、そのまま大学へ向かいます。

どちらにも行けない場合は、近くの安全な避難場所へ移動します。

自宅もしくは学校へ、可能な限り、連絡をする。おちついて状況判断をして、行動してください。現場で指示がある場合は、指示に従ってください。

(5) 大学から発信する情報

大学ホームページ（エドポタ等）

携帯メールネットワーク「キャンパスモバイル」

交通機関の不通により、臨時の休校、始業時限の変更が必要な場合は、朝 7 時及び 11 時の時点で判断をし、キャンパスモバイル及びエドポタで連絡します。

(6) 大学からの安否確認

大学からの安否確認連絡は、キャンパスモバイルで行います。地震発生後、3 時間後、6 時間後、48 時間後に送信しますので、必ず状況を返信して下さい。

なお、キャンパスモバイルでの連絡には予め登録が必要です。携帯を買い換えたとき、アドレスを変更したときも変更手続きをして下さい。



左の QR コードを携帯電話のカメラのバーコードリーダーでスキャンして下さい。
空メールを送信すると、大体 5 分後にメールが送られてきますので、簡単な登録手続きをします。

4 . 参考となる情報

(1) 応急手当の方法

救助者は、救助に際して次のことを自覚する必要があります。

- ・原則として医薬品を使用しない。
- ・あくまでも医師などに引き継ぐまでの救命手当・応急手当にとどめる。

倒れている人（傷病者）を発見したら、まず周囲の状況をよく観察します。

手当を行う前には、傷病者の状態をよく調べなければなりません。よく見て、話しかけ、直接触れて生命の徴候（意識、呼吸、脈拍、顔色・皮膚の状態、手足の動き）を観察します。どんな場合でも、全身を観察する事が大切です。特に、心肺蘇生法が必要な意識障害、呼吸停止、心停止の判断を下すために、意識はあるか・呼吸をしているかなどを、よく調べます。

手当をするときはもちろん、搬送する場合にも傷病者の安静を確保することが大切です。体位、保温、環境の整備などを考えましょう。

出血のしかたを確認

傷口からにじみ出る（**a**毛細血管性出血） 応急手当で止血可能
黒ずんだ血が流れ出る（**b**静脈性出血） 応急手当で止血可能
まっ赤な血が噴水のように吹き出る（**c**動脈性出血） 大量出血時は同時に 119 番へ

応急手当＜直接圧迫止血法＞

出血している部分に清潔なガーゼやハンカチをあてて片手で圧迫。

出血量が多いときは両手で強く圧迫。

血がにじんできたらガーゼやハンカチを重ね、きつめに包帯を巻く。

静脈は血流が弱く、直接圧迫止血法でおおむね応急止血が可能です。



<注意>

万一の感染防止のため、止血のさいには傷病者の血液に触れないことが大切です。

救助者はできる限りビニール手袋やビニール袋を手に着用することが推奨されます。

(2) 消火器の使い方

消火器を障害物にぶついたりしないよう注意しながら、火災の起きている場所近くの消火に安全な場所まで運びます。

あまり離れすぎていると、火への放射前に薬剤が尽きてしまいます。概ね 7～8m 手前を目安とします。

黄色の安全ピンを引き抜きます。

ホースを外し、ホースの先端を持って火元に向けます。

ホースの途中を持つと、放射の圧力などからねらいが定まらず、的確に放射できない恐れがあります。

レバーを強く握って放射します。

消火器が重い場合、消火器を置いたままレバーを握って放射する方法もあります。

火の根元をねらい、手前からほうきで掃くように薬剤を放射します。

自分の身を守りつつ効果的に放射するために、風上から放射します。室内で放射する場合は、出入口を背にして逃げ道を確保します。

(3) 災害時帰宅ステーション

大規模な地震が発生した場合に、千葉県を含む九都県市では、やむを得ず徒歩で帰宅する方を支援する取組みとして、コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ガソリンスタンド等と帰宅支援協定を締結しています。

協定では、徒歩帰宅者に対し、水道水やトイレの提供、地図等による道路情報、ラジオ等で知り得た通行可能な道路、近隣の避難場所に関する情報提供を行うこととなっています（店舗等の被害の状況によっては、利用できない場合があります）。

なお、本協定に賛同した店舗を「災害時帰宅支援ステーション」と呼び、「災害時帰宅支援ステーションステッカー」を店舗の入口など、利用者の見やすい位置に掲示しています。



左のマークのあるお店が目印です。

(4) 安否連絡の方法

家族、友人であらかじめどのように連絡を取るのか決めておきます。

A. 災害伝言ダイヤルの使い方

（自分の情報を相手に伝えたい時 = 伝言録音）

「171」 + 「1」 + 「自分の電話番号」 + 「自分のメッセージ録音」

（相手の情報を聞きたい時 = 伝言再生）

「171」 + 「2」 + 「相手の電話番号」 + 「相手のメッセージ再生」

B. 携帯電話の災害用伝言板

NTTドコモ iモード iMenu トップ

au EZweb トップメニュー

SoftBank Yahoo!ケータイ トップ

江戸川大学大震災時行動マニュアル(学生用)

2011年5月11日 第1版発行

発行者：江戸川大学防災等危機管理委員会

連絡先：江戸川大学企画総務課